

財団法人日本訪問看護振興財団の「訪問看護eラーニング」について(ヒアリング結果)

平成15年度	開発・コンテンツ作成開始(～平成17年 モデル事業実施)
平成18年度	日本看護協会による運用開始(平成20年度～ 財団法人日本訪問看護振興財団による運用開始)
平成23年度	第8回日本e-Learning大賞 奨励賞受賞

平成22年度の運営状況について

- ・ 受講(視聴)可能期間 5ヶ月間 受講料 15,000円
- ・ 受講資格: 訪問看護の知識取得を目指す者
- ・ 受講者数 1,007人 (修了率85.3%)
- ・ 総レッスン数 57レッスン(10分～30分/レッスン)

コンテンツの特徴(構成: 音声・画像有 テキストはダウンロード)

- 90% パワーポイント中心
- 10% 映像(例: 訪問看護の場面、心臓マッサージのシミュレーション等)

学習の評価

- ・ 内容のまとめ(章)毎に択一式の確認テスト
(1テスト20問, 14問以上正解で合格)
- ・ 設問はプール化し、ランダムに組み替えされて出題
- ・ 修了要件: 全確認テストの合格と映像以外の全レッスン視聴

受講者管理・受講支援(体制)

- ・ チューター制度: 財団職員2名が受講生の質問にメールにて対応
※ チューターの回答時間: 9:00～17:00 (メールは24時間受付)
質問対応: 169件(平成22年度)
- ・ 受講促進メールを送信
- ・ 別途ベンダーがヘルプデスク設置(PC操作、LMS画面に関する質問等)
※ ベンダーの対応時間: 9:00～17:00 (メールは24時間受付)
操作方法等のベンダー回答: 464件(平成22年度)

コンテンツの改善

- ・ 運用開始から5年以上経過したことから、平成23年度と平成24年度にコンテンツの大規模改訂
- ・ 複数の受講生から同じ質問があった部分について修正を実施
結果として受講生からの質問は減少
- ・ 統計・データや知見の更新があった場合は随時改訂を実施

受講者からのアンケート評価

- ① 「満足であるか」 97%が肯定的
(52%「全くそう思う」、45%「ややそう思う」)
- ② 「理解しやすいか」 94%が肯定的
(22%「とても理解しやすい」、72%「理解しやすい」)
- ③ 「実践に活かせるか」 98%が肯定的
(57%「全くそう思う」、41%「ややそう思う」)
- ④ 「操作性・機能」 92%が肯定的
(23%「とても使いやすい」、69%「使いやすい」)
- ⑤ 「今後、望む研修方法」
48%「次のステップもeラーニング」、
9%「ビデオやDVD,CD-ROM」

(受講生・運営者からの意見)

受講者側

- ・ コンテンツ毎に教育内容のつながりなど、カリキュラムとしての一貫性に不安を感じる
- ・ テキスト中の「よくある質問」は、授業の内容に含めて欲しい
- ・ テキストのダウンロード・印刷は、時間と経費の負担

運営者側

- ・ 確認テストの合格＝能力を獲得したかどうかの確認には限界
- ・ 受講者同士の交流が困難
(SNS(ソーシャルネットワークサービス)活用の検討)

訪問看護eラーニングへ ようこそ

日本訪問看護振興財団
eラーニング担当



訪問看護eラーニングとは

ネットにつながるパソコンとユーザID・パスワード
があればいつでもどこでも
訪問看護について学べます。
受講可能期間は5ヶ月間です。

ランです。
eラーニングで訪問看護の
基本的な知識と技術が
勉強できます。



申込みから受講まで

日本訪問看護振興財団のホームページにアクセス



「訪問看護eラーニング」の画面にすすむ



申し込み画面に必要情報を入力

体験版を視聴して
パソコンの推奨環境を
チェック！



クレジットカードやコンビニエンスストアで入金



ユーザID・パスワードがメールで届く

これで受講開始です



- 財団の概要
- 所在地・交通案内
- 訪問看護
- 訪問看護
- ご寄付の
- 『財団方
- 会員の
- あんしん総合医療
- 相談の受付
- 教育・研修一覧
- 研究・開発事業
- 出版物・販売物
- 財団立訪問看護ステーション
- ご意見・ご要望
- リンク

[会員専用サイト](#)

■ [トップページ](#) ■



Total: **0255004**

Today: **0000320**

yesterday: **000046**
3

ここをクリック



- ① [財団会員対象「メールマガジン」登録受付中](#)
- ② [財団会員専用ページ登録受付中](#)

お申込受付中

[全国ブロック研修 在宅での看取りのセミナー](#)(H22年5月から開催)
[訪問看護管理者のための経営・運営改善セミナー](#)(H22年5月から開催)

訪問看護eラーニング

職場や自宅のパソコンから
自分の好きな時間に訪問看護の知識が学べます。



訪問看護と連携した通所サービス - 療養通所介護 - **Blog**



財団の概要



[理事長ご挨拶](#) | [設立趣旨等](#) | [当財団を巡る動き](#) | [主な活動状況](#) | [所在地・交通案内](#) | [定款\(寄附行為\)](#) | [個人情報保護方針](#) | [役員・評議員名簿](#) | [事業報告書](#) | [収支決算報告](#) | [財産目録](#) | [事業計画書](#) | [収支予算書](#) | [報酬・退職金規程](#) |

訪問看護について



[誰が来てくれるの?](#) | [どんな人がうけられるの?](#) | [何をしてくれるの?](#) | [料金はいくらかかるの?](#) | [どうすれば受けられるの?](#)

お知らせ

-2010年6月7日
[訪問看護最新情報](#)に日本財団の福祉車両助成事業について掲載しました。

-2010年6月2日
[訪問看護最新情報](#)に「自殺未遂による傷病に係る保険給付等について」を掲載しました。

-2010年6月2日
[訪問看護最新情報](#)に「平成22年訪問看護ステーション数調査(社団法人全国訪問看護事業協会調べ)」結果を掲載しました。

-2010年5月20日
4月30日付で療法士等の喀痰吸引を可能とした通知が発出されました。
[「訪問看護最新情報」](#)に掲載します。

平成23年度eラーニング

体験版はこちら

お申込はこちら (6月1日より)

ログイン

訪問看護eラーニングって?

申込から受講まで

受講から修了まで

訪問看護eラーニング活用方法

よくあるご質問

日本訪問看護振興財団ホームページへ

下記ソフトが必要な方は
こちらからダウンロードしてください。



このサイトは、グローバルサインのサーバ証明書に
基づいて認証されています。また、SSLによる安全な

ここをクリック

訪問看護 eラーニング

職場や自宅のパソコンから
自分の好きな時間に訪問看護の知識が学べます。

訪問看護の基礎を勉強したい
訪問看護師

毎日の
業務に
すぐ役立つわ



退院支援に活かすために
知識を広げたい病院看護師

患者さんの
退院の相談に
のる時に
活かせるのね。



在宅看護論を教えるときに
活用したい看護教員

在宅看護
介護保険とは?

在宅看護論の
講義に
参考になります。



次の就職のために時間を
有効に活かしたい離職中の看護師

次に就職
する時までのために
勉強しています。



お知らせ・ニュース

ログイン

ユーザID・パスワードを入力してログインボタンを押してください。

ユーザID

パスワード

ログイン

[パスワードを忘れた方はこちら](#)

自分のID
パスワードを
入力します

TOPへ

ライブラリ

問い合わせ

コース申込

ログアウト

スケジュール

◀ 2010/6 ▶						
日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10

NetLearning

パスワード変更

訪問 太郎 さんようこそ!

ヘルプ

コースのお申し込みはこちら[コース申込](#)からどうぞ!

★訪問看護eラーニングへようこそ! コース学習ボタンをクリックして受講を開始してください。学習中に分からないことがあった時はチュートリアルボタンから質問できます。

お知らせ一覧

(0件)

タイトルをクリックすると内容がごらんになります。
添付ファイルがあるお知らせには「📎」マークが表示されます。
既読のお知らせには「📧」マークが表示されます。

マイルーム画面です。
ここをクリックして
学習を開始します。

コース一覧

コース名	学習開始	受講期間	閲覧期間	ステータス
訪問看護 eラーニング	コース学習	2010/05/21- 2010/10/20	-	受講中 1%

コース目次です。
どの項目からでも受講できます。

コース目次

▶▶ [『平成23年度 訪問看護eラーニング』ご利用の手引き](#) ※はじめに必ずお読みください

★ 必須: 受講必須のレッスン(講義)ページです。

☆ 参考映像やコラムなどです。

★ 必須: 70%以上正解する事が必須のテストです。

📖 テキストのダウンロードページです。

第1章 訪問看護概論

📖 [テキスト・参考資料ダウンロード](#)

- 1節 ★ [保健医療福祉をめぐる社会的動向と訪問看護のニーズ](#) (09分09秒)
- 2節 ★ [訪問看護の歴史](#) (11分18秒)
- 3節 ★ [訪問看護の定義と理念](#) (07分24秒)
- 4節 ★ [訪問看護をめぐる諸制度](#) (15分06秒)
- 5節 ★ [介護保険と訪問看護](#) (09分09秒)

★ [第1章 確認テスト](#)

☆ [【コラム】チュータ自己紹介](#)

第2章 訪問看護対象論

📖 [テキストダウンロード](#)

- 1節 ★ [対象となる個人](#) (07分14秒)
- 2節 ★ [対象となる家族](#) (11分53秒)
- 3節 ★ [家族支援の展開](#) (33分31秒)
- 4節 ★ [対象となる地域](#) (15分51秒)
- 5節 ★ [地域アセスメントの展開](#) (13分24秒)

★ [第2章 確認テスト](#)

【音声+スライド】訪問看護の定義と理念

レッスンコンテンツの最初のページです。ここをクリックして開始します。

3節 訪問看護の定義と理念

ねらい

訪問看護の定義を理解し、訪問看護の目指すものからその理念を理解する

目 標

1. 訪問看護の定義を理解する。
2. 訪問看護の理念(訪問看護に必要な看護の視点および主なる目標)について理解を深める。

【注意】最終画面のメッセージが表示されるまで
閲覧履歴は記録されませんのでご注意ください。

第5章 訪問看護技術論 2節 医療処置別技術論


3項 点滴・中心静脈栄養法

レッスンコンテンツのページ例①です。
スライド資料と音声解説で学習します。

11:04 / 23:18

- ▶ 在宅中心静脈栄養法の対象となる疾患
- ▶ 在宅中心静脈栄養法を支える仕組み
- ▶ Central Venous (CV)カテーテルとは
- ▶ CVカテーテルの種類
- ▶ CVポートとは
- ▶ CVカテーテルの先端
- ▶ CVポートのシステム全景
- ▶ 皮下埋め込み式CVカテーテルの仕組みと扱い
- ▶ ポートへの穿刺手順
- ▶ 薬剤の投与
- ▶ ヒューバー針の持ち方
- ▶ 抜針手順
- ▶ TPNに使用される薬剤の種類
- ▶ TPN投与方法
- ▶ カテーテルに関連した合併症
- ▶ カテーテルピンチオフ
- ▶ カテーテルピンチオフ
- ▶ カテーテルピンチオフ
- ▶ 代謝に関連した合併症

ヒューバー針の持ち方



ヒューバー針

ヒューバープラス針

親指と中指でチューブとグリップ部をしっかり持つ

人差し指はニードルアングルの真上に置く

写真提供: メディコン株式会社

【注意】最終画面のメッセージが表示されるまで
閲覧履歴は記録されませんのでご注意ください。

◀ NOW ▶

切替 Video Slide

第5章 訪問看護技術論 2節 医療処置別技術論

9項 腹膜透析 I : 概論

レッスンコンテンツのページ例②です。
イラスト等を用い分かりやすい内容になっています。

00:00 / 08:20

- 9項 腹膜透析(在宅自己腹膜灌流) I : 概論
 - 9項 腹膜透析(在宅自己腹膜灌流) I : 概論
 - I. 腹膜透析の概論
 - 腎代替療法 = 生涯継続
 - 腹膜透析の動向
 - 腎臓のはたらき
 - 腹膜透析とは
 - 腹膜透析の原理
 - 腹膜透析の種類
 - 参考文献

腎代替療法 = 生涯継続

透析療法



- ・血液透析 (Hemo Dialysis)
- ・腹膜透析 (Peritoneal Dialysis)

腎移植



- ・生体腎移植
- ・献腎移植

【注意】最終画面のメッセージが表示されるまで
閲覧履歴は記録されませんのでご注意ください。

切替 Video Slide

第1章 訪問看護概論

1節 保健医療福祉をめぐる社会的動向と訪問看護の

レッスンコンテンツ最終画面です。
修了に必要なレッスンコンテンツはこの画面が
表示されないと学習履歴が認証されません。

09:09 / 09:09

第1章 訪問看護概論

- ▶ 第1章 訪問看護概論
 - ▶ 1節 保健医療福祉をめぐる社会的動向と訪問看護の
 - ▶ 1節 保健医療福祉をめぐる社会的動向と訪問看護の
 - ▶ 第1項:保健医療福祉をめぐる社会的動向 ① 人口概
 - ▶ 第1項:保健医療福祉をめぐる社会的動向 ② 家族概
 - ▶ 第1項:保健医療福祉をめぐる社会的動向 ③ 平均7
 - ▶ 第1項:保健医療福祉をめぐる社会的動向 ④ 疾病概
 - ▶ 第2項:訪問看護のニーズ
 - ▶ 第2項:訪問看護のニーズ
 - ▶ 文 献

文 献

参考・引用文献

1. 川村佐和子ほか監修:訪問看護管理マニュアル、P2~P18、財団法人日本訪問看護振興財団、2002
2. 厚生統計協会編、国民衛生の動向、2009
3. 厚生労働省監修:平成20年度版 厚生労働白書、ぎょうせい

終了いたしました。

をクリックして次のページにお進みください。

もう一度見る

【注意】最終画面のメッセージが表示されるまで
閲覧履歴は記録されませんのでご注意ください。

NOW

切替 Video Slide

第1章 訪問看護概論

- 1節 保健医療福祉をめぐる社会的動向と訪問看護のニーズ
- 2節 訪問看護の歴史
- 3節 訪問看護の定義と理念
- 4節 訪問看護をめぐる諸制度
- 5節 介護保険と訪問看護

1節 保健医療福祉をめぐる社会的動向と訪問看護のニーズ

ねらい
保健医療福祉をめぐる社会的動向を理解し、訪問看護のニーズを明確にする。

目 録

1. 保健医療福祉をめぐる社会的動向を理解する。
2. 訪問看護のニーズを理解する。

レッスンコンテンツのスライドページはPDFでダウンロードし、保存・印刷が可能です。その他、保存できる参考資料もあります。

1節 保健医療福祉をめぐる社会的動向と訪問看護のニーズ

第1項 保健医療福祉をめぐる社会的動向

第2項 訪問看護のニーズ

第1項:保健医療福祉をめぐる社会的動向 ① 人口構造の変化

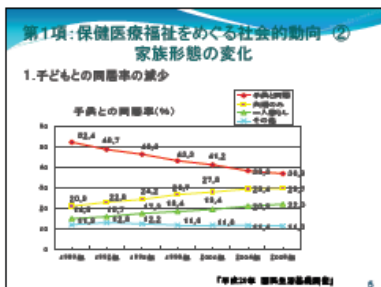
1. 少子化
 - 15歳以下の人口割合 13.5%(2008年)で連続減少
 - 合計特殊出生率 1.37(2008年)
 - 第一子出生時の母親の年齢29.4歳(2007年)

↓

誰やか親子21(2000年策定)
2. 高齢化
 - 高齢化率 22.1%(2008年)
 - 2015年には25%に達する見込み
 - 平均寿命の延伸 女性86.85才 男性79.29才(2008年)

↓

健康日本21-ゴールドプラン21(2000年策定)



第1項:保健医療福祉をめぐる社会的動向 ③ 平均在院日数

1. 平均在院日数からみる高齢者の疾患の慢性化

	0~14才	15~34	35~64	65才以上	70才以上
通院患者平均在院日数(単位日)	8.9	13.0	29.5	47.7	50.2
厚生労働省「患者調査」2006年					

2. 早期退院の推奨

QOLの視点
医療経済の視点

第5章 訪問看護技術論 2節 医療処置別技術論

61項 【参考資料】 在宅酸素療法

参考資料の例①です。
写真等を用いた資料も多く使用しています。

呼吸同調式デマンドバルブ


- 携帯用酸素に取り付け、患者の吸気時のみにバルブを開いて酸素を流出させ、酸素を節約する装置。
- 呼吸を一定時間(30秒程度)感知しない場合、アラーム音が作動する機種もある。





(写真提供: 帝人ファーマ株式会社)

第5章 訪問看護技術論 3節 訪問看護展開のための知識・技術

3項 【参考資料】 フィジカルアセスメント（打診・聴診）

-  マークをクリックしてください。それぞれ音が確認できます。
(もう一度クリックすると音声は止まります。)

打 診

-  共鳴音
-  濁音(鈍音)



聴 診

【正常呼吸音】

-  気管音
-  気管支肺胞音
-  肺胞音

【異常呼吸音】 副雑音

A. 連続性

-  高調性 (wheeze)
-  低調性 (rhonchi)

参考資料の例②です。
音声による学習もできます。

第5章 訪問看護技術論 2節 医療処置別技術論

6項 【参考映像】 在宅酸素療法 (2) 今日から始める自己管理 ～呼吸リハビリテーション～

参考映像の例①です。
このような動画を利用した参考映像でも学習することができます。

- 今日から始める自己管理 呼吸リハビリテーション
 - ▶ 今日から始める自己管理 呼吸リハビリテーション
 - ▶ 第1章 呼吸のしくみと酸素 (10分)
 - ▶ 第2章 在宅酸素療法の意義としくみ (14分)
 - ▶ 第3章 在宅酸素療法に使用する酸素供給器の取
酸素濃縮装置
酸素ボンベの使用法
 - ▶ 第4章 急性増悪 普段からできる予防と早期発見
 - ▶ 第5章 呼吸法と体の動かし方 (14分)
 - ▶ 口すぼめ呼吸と腹式呼吸
 - ▶ 運動療法
 - ▶ 日常生活の呼吸
 - ▶ 息切れがおきたときの対処法
 - ▶ 付録 運動療法 画面に合わせて行ってみましょう
 - ▶ 首を回す体操
 - ▶ 肩を回す体操
 - ▶ 身体をひねる体操
 - ▶ 身体を横に倒す体操
 - ▶ 太ももの筋肉を鍛えるスクワット
 - ▶ 腕の筋肉を鍛える壁懸垂



【映像】 在宅ホスピスケア参考映像(一部)

参考映像の例②です。
他にも参考映像があります。

在宅ホスピスケア参考映像

▶ 在宅ホスピスケア参考映像(4分44秒)



【注意】参考映像出演者の所属・職位等は作成当時のものであり、現在は変更している場合があります。ご了承ください。

第1章 訪問看護概論

◆◆◆◆◆ 第1章 確認テスト ◆◆◆◆◆

確認テストです。
修了にはテストごとに70%以上の
正解が必要です。

確認テストでは、全20問のうち14問(70%)以上正解すると合格となります。合格を目指してがんばりましょう！

【注意】

- 全ての問題を解いたあと、画面下の「解答完了」をクリックして解答を送信してください。
- 全問解答必須です。出題内容は受講者・受講ごとに異なります。
- 20問中14問(70%)以上正解したあとは、再テストを受けることができません。
- 時間制限はありません。ただし、テストの途中でブラウザを閉じたり、ブラウザの戻るボタンで戻った場合は、1問目から再受験しなければいけませんので、十分ご注意ください。

Q1

次の文のうち、正しいものを選びなさい。

- A 一人暮らし高齢者は男性のほうが多い。
- B 一人暮らし高齢者に多い閉じこもりとは、寝たきり状態での生活しかできず、外に出られない状態をいう。
- C 一人暮らし高齢者のための支援のポイントの1つは閉じこもりを予防することである。
- D 後見人制度とは判断能力を失った認知症高齢者に対しての、経済的援助を定めたものである。

● 平成23年度 訪問看護eラーニング

日本訪問看護振興財団 さんの学習成績

学習成績です。
レッスンの学習やテストを受けると
背景が黄色に表示されます。

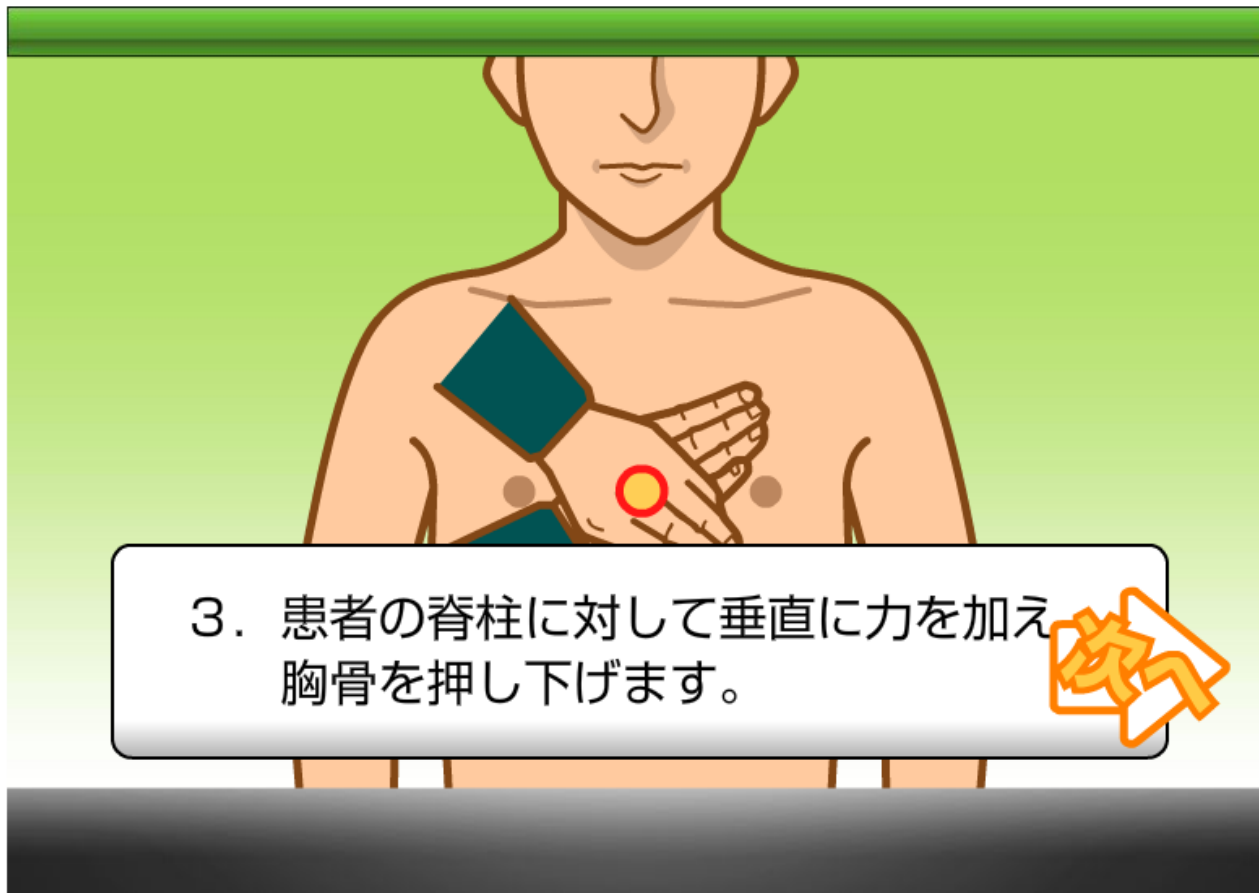
テスト

タイトル	解答日	正解数
1節 保健医療福祉をめぐる社会的動向と訪問看護のニーズ	2011/05/11	1/1
2節 訪問看護の歴史		
3節 訪問看護の定義と理念		
4節 訪問看護をめぐる諸制度		
5節 介護保険と訪問看護		
◆◆◆◆◆ 第1章 確認テスト ◆◆◆◆◆		
1節 対象となる個人		
2節 対象となる家族		
3節 家族支援の展開		
4節 対象となる地域		
5節 地域アセスメントの展開		
◆◆◆◆◆ 第2章 確認テスト ◆◆◆◆◆		
1節 訪問看護過程		
2節 訪問看護の実際		
3節 チームケア		
4節 カンファレンス		
◆◆◆◆◆ 第3章 確認テスト ◆◆◆◆◆		

第5章 訪問看護技術論 1節 対象別技術論

7項 体感！心臓マッサージ（胸骨圧迫）

体験型コンテンツです。
ゲーム感覚で学ぶことができます。



3. 患者の脊柱に対して垂直に力を加え
胸骨を押し下げます。



チュータへの質問画面です。
レッスンの内容に関する質問は
こちらからお寄せ下さい。

チュータHotLine【平成23年度 訪問看護 eラーニング】

担当チュータとの質問回答ホットラインとしてご活用ください。

- ・ 担当チュータに関するご相談、および発言の削除は、ラーニングセンターまでメールでご連絡ください。[ラーニングセンターへメールを送る](#)
- ・ タイトル部分をクリックすると発言の内容がご覧になります。
- ・ 「■」部分をクリックすると親発言から全発言がご覧になります。

[発言一覧](#) / [新規発言](#) / [検索](#) / [戻る](#) / [閉じる](#)

書込みがありません。
新規発言をクリックして、メッセージを書き込んでください。

[発言一覧](#) / [新規発言](#) / [検索](#) / [戻る](#) / [閉じる](#)

このたびは、「訪問看護eラーニング」コースをご利用いただき誠にありがとうございました。
コース内容やeラーニングシステムの改善に役立てるため、コースレビュー(アンケート)へのご回答をお願いいたします。ご協力を、よろしくお願ひ申し上げます。

コースレビュー(アンケート)です。
この送信をもって修了認定がされます。

Q1	今回のeラーニングに満足いただけましたか？ *必ずご回答ください。
	<input type="text"/>
Q2	今回学んだことが実際に活かせると思いますか？ *必ずご回答ください。
	<input type="text"/>
Q3	難易度はいかがでしたか？ *必ずご回答ください。
	<input type="text"/>
Q4	ボリュームはいかがでしたか？ *必ずご回答ください。
	<input type="text"/>
Q5	5ヶ月間の受講期間はいかがでしたか？ *必ずご回答ください。
	<input type="text"/>
Q6	eラーニングの受講料(個人15,000円、県協会経由13,000円)はいかがでしたか？ *必ずご回答ください。
	<input type="text"/>
Q7	学習における操作性や機能はいかがでしたか？ *必ずご回答ください。
	<input type="text"/>

第5章 訪問看護技術論

コラム

さらなるステップアップを目指して ～認定看護師教育課程～

認定看護師をご存じでしょうか？この制度は1997年に救急看護、皮膚・排泄ケア分野の認定から始まり、2011年現在で21分野が特定されています。（詳しくは日本看護協会ホームページをご覧ください。）その中で、訪問看護分野は1998年に分野特定され、2006年に訪問看護認定看護師第一号が誕生しました。訪問看護認定看護師は地域の医療ニーズの高い在宅療養者・障がい者のケースマネジメントならびに専門的看護を提供し、在宅ケア領域でリーダーシップを発揮する看護師です。2011年4月現在、全国で198名の訪問看護認定看護師が活動しています。

認定看護師は各領域で「実践・指導・相談」の3つの役割を担います。認定看護師というと皮膚排泄ケアや緩和ケアのようにその分野に特化した専門性をもった資格をイメージしますが、訪問看護の場合は医療機関に入院中の方の退院支援（移行期ケア）から在宅での看取り・グリーフケアに至るまで活動の場が広範囲・多岐にわたっています。また訪問看護の対象は新生児から障がい者・高齢者、その家族・介護者と地域で生活しているすべての方々です。訪問看護師には単独で利用者宅に訪問し、観察・アセスメント・ケアマネジメントを行う力量やチームケアの実践・モニタリングを行う力量が必要になります。

訪問看護認定看護師は訪問看護の仲間が共に学びながら質の向上が図れるように活動することや他職種と連携し、ケアチームの一員としての役割も担います。さらなるスキルアップのために皆様も訪問看護認定看護師を目指しませんか？日本訪問看護振興財団の認定看護師教育課程は、全日制で6カ月集中型です。受験案内などは随時、当財団ホームページに掲載いたします。カリキュラムを下記にあげましたのでご参照ください。

修了要件には含まれない
コラムページです。
eラーニングや訪問看護に関する
情報などを紹介しています。

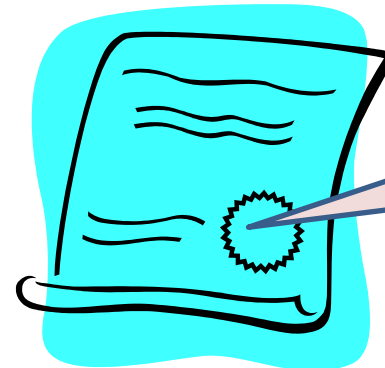
修了証書発行の手順

全てのレッスンコンテンツ学習が終了し、テスト合格およびコースレビューが送信されるとマイルームに **修了証書** ボタンが表示されます。

そのボタンをクリックして、修了証書を表示させてください。
修了証書は印刷も可能です。



レッスンも全部学習
したし、テストにも合
格した。コースレ
ビューも送信OK!



印刷
しましょう

[TOPへ](#)

NetLearning

[ログアウト](#)

スケジュール

◀	2011/5							▶
日	月	火	水	木	金	土		
24	25	26	27	28	29	30		
1	2	3	4	5	6	7		
8	9	10	11	12	13	14		
15	16	17	18	19	20	21		
22	23	24	25	26	27	28		
29	30	31	1	2	3	4		

NetLearning

[パスワード変更](#)

日本訪問看護振興財団 さんようこそ!

[ヘルプ](#)

ここに、学習者に向けたメッセージを自由に表示させることができます。

メッセージの設定や修正は、管理者用の画面から行います。

コース一覧

コース名	学習開始	受講期間	閲覧期間	ステータス
平成23年度 訪問看護 eラーニング	コース学習	2011/04/13- 2011/06/30	-	修了  100% 修了証書

ここをクリックして修了証書を
発行します。

修了証書

日本訪問看護振興財団 殿

貴殿は下記のコースを修了されたことをここに証明いたします。

平成23年度 訪問看護 eラーニング



ここをクリックして修了証書を印刷します。

受講修了日: 2011年 5月 18日



財団法人 日本訪問看護振興財団
理事長 清水 嘉与子

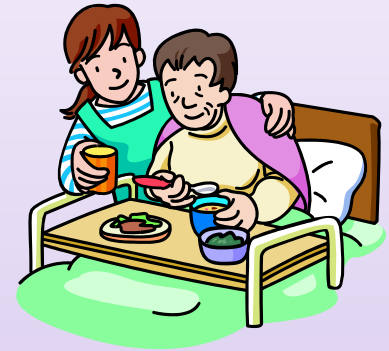


財団法人 日本訪問看護振興財団

さらに……



- 所定の實習を行うと



訪問看護研修ステップ1 修了と認定されます！

詳しくは日本訪問看護振興財団
ホームページをご覧ください